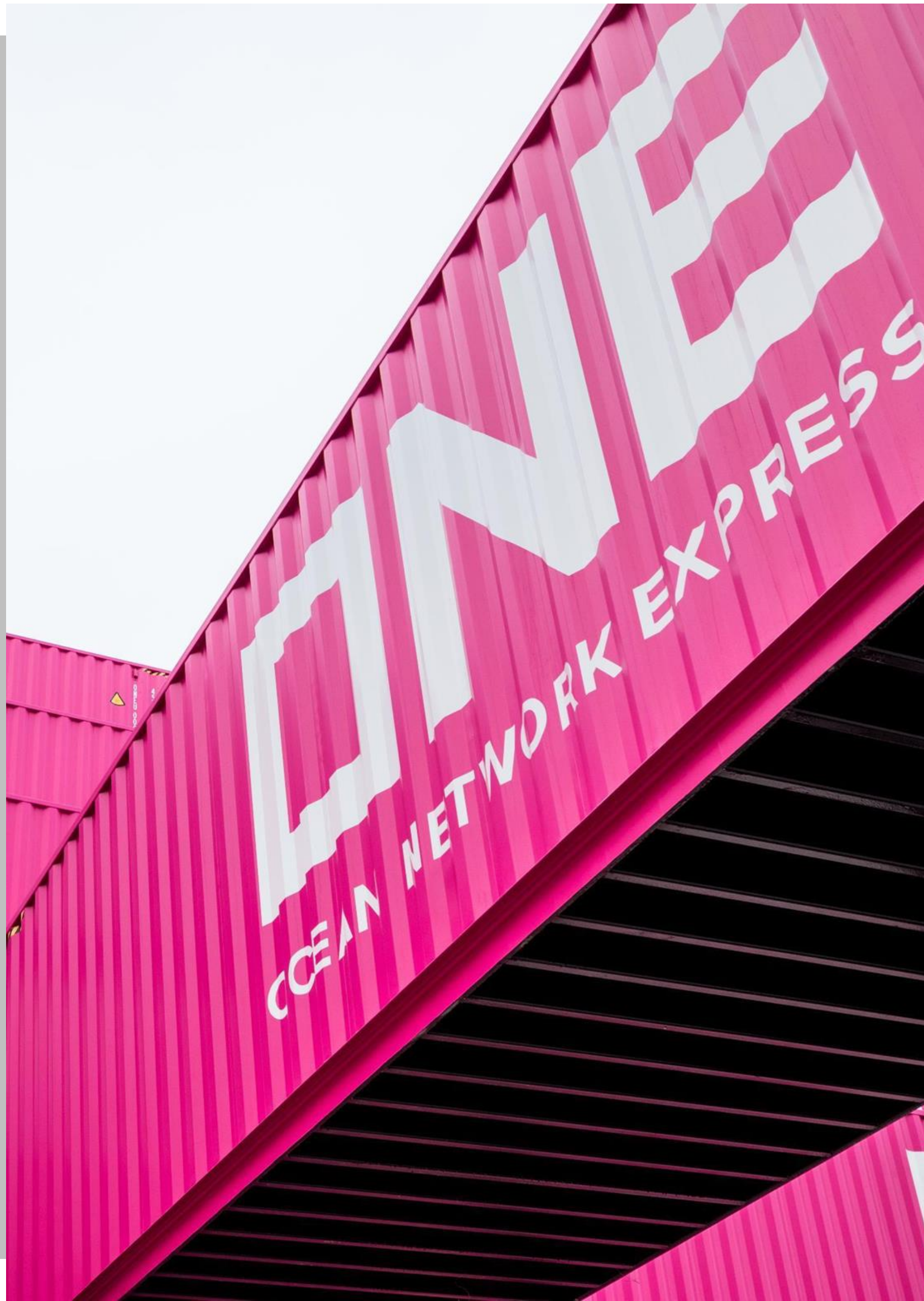


ONEの取り組み 2023年度第2四半期

ONE
OCEAN NETWORK EXPRESS

2023年10月31日





1. CEOからのメッセージ
2. 2023年度第2四半期の当社の取り組み
3. ONEの取り組み
 - ・ 顧客サービス志向
 - ・ オペレーションの優位性
 - ・ グリーン戦略
 - ・ コンテナ船サミット
 - ・ ONEの持続可能性



ジェレミー・ニクソン
当社CEO

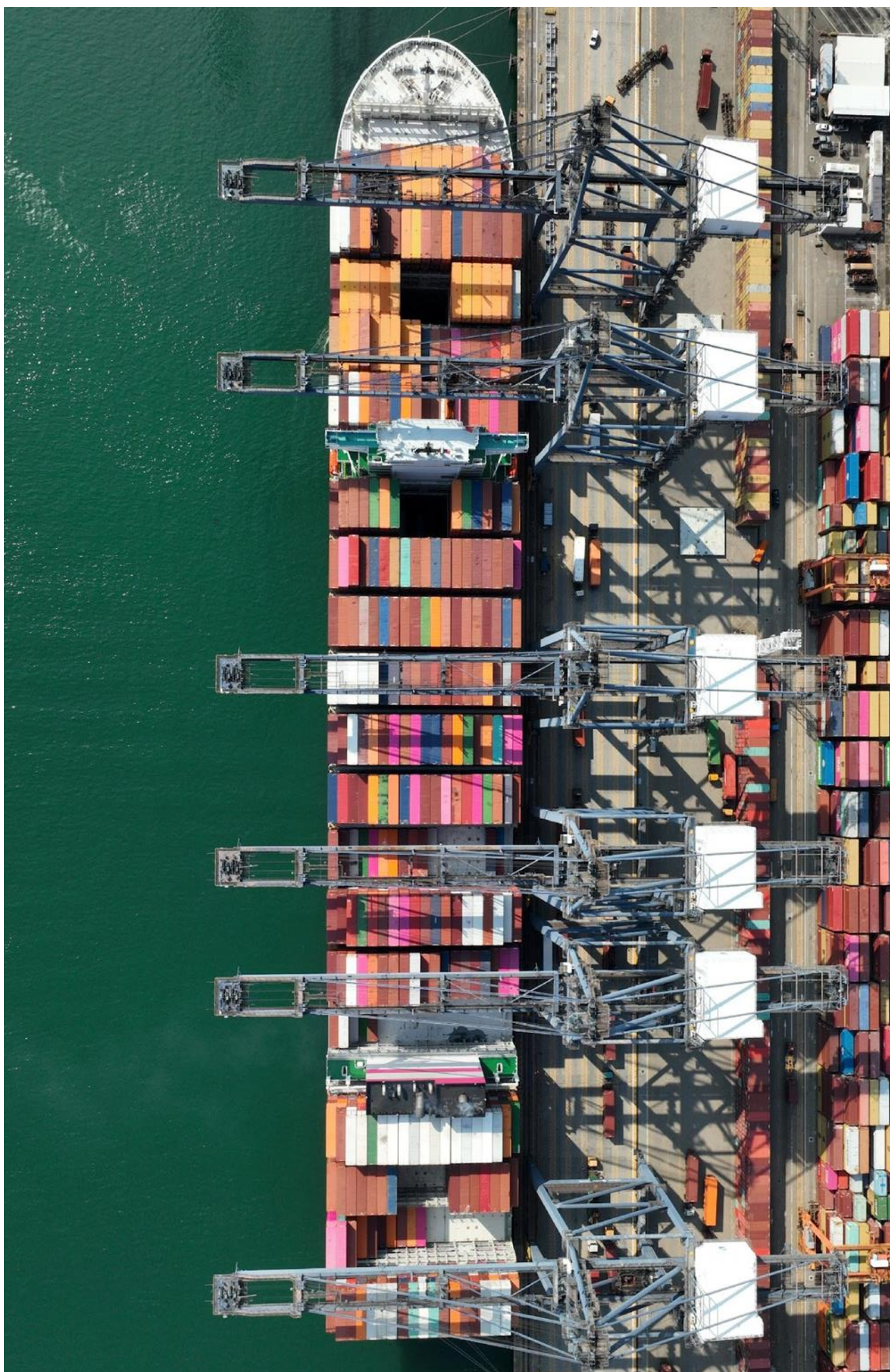
市場の動向

世界経済は、高いインフレ、高金利及びエネルギー高騰の逆風にさらされ続けています。その結果、消費者の需要は抑制され、顧客の在庫レベルは一般的には保守的な水準へ再調整されつつあります。アジアにおける中秋節明けに、アジアー欧州航路及び太平洋横断航路の輸送需要の回復に鈍化がみられる一方で、アジア域内航路とラテンアメリカ航路は堅調に回復しているようにみえます。

アジアにおける北米及び欧州向け輸出需要の全体的な低迷への対応として、当社とTHEAメンバーは、現在いくつかのサービスネットワークの再編成に着手しております。より低迷する需要見通しに合わせて、供給を適切に調整するために、臨時欠便を減らし、全体的に本船の定時スケジュールの信頼性を高めることを目的としております。

オペレーションの留意点

港湾部門における未解決の労働争議は、現在ほぼ解決されているようです。世界の本船スケジュールに影響を及ぼす最も大きな要因は、天候に関連するものです。ラテンアメリカにおける降雨量の少なさは、パナマ運河の通過やアマゾン川の水位に直接的な影響を及ぼしています。さらに、西アフリカと南アフリカにおける悪天候は、港湾の生産性と船舶の航海スケジュールに、より大きな悪影響を及ぼしています。



顧客サービスの強化

前四半期に亘って、当社は特定地域のお客様の需要に応えるため、多数の新サービスを開始しました。当社は9月に南米東海岸とヨーロッパを結ぶ「Latin-East-Coast-Europe Express」(LUX) サービスを開始しました。これは、このルートにおける、初の専用サービスとなりました。また地中海では、「Adriatic Israel Butterfly Loop」(AIB)サービスも新たに開始しました。アジアでは、タイ、ベトナム及び日本を結ぶ「Thailand Hakata Express」(THX)サービスを新たに開設しました。また、韓国、中国及びインドネシアを結ぶ「Korea China Indonesia」(KCI)サービスも同様に開設しました。

サステナビリティ

国際海事機関 (IMO) は、本年7月初めに開かれたMEPC80会議において、2050年までに国際海運における温室効果ガス (GHG) 排出削減目標を「ネット・ゼロ」とすることを正式に決定しました。同会議ではまた、ロードマップとして、2008年比で、2030年までに総排出量を少なくとも20%削減、2040年までに少なくとも70%削減するという新たな削減目安も設定しました。同時に、2030年までに5~10%の温室効果ガス(GHG)フリーまたはゼロに近い代替燃料を導入するという目標も盛り込まれています。一方、欧州ではGHG排出量取引制度であるEU-ETSが2024年に発効する予定です。これらに対応するため、当社を含む海運業界では、全体での炭素排出量を削減するための新しい技術及び燃料ソリューションの導入にさらに注力しています。

戦略と方針

2022年3月に発表した当社の「中期戦略」及び「グリーン戦略」の実行

- サプライチェーンを支えるコンテナ船社として、高品質で安全なグローバル輸送サービスの提供を継続するため投資を着実に実施してまいります。
- グリーン戦略を当社の最重要経営課題と位置づけ、脱炭素化を始めとした業界の課題に取り組みます。
- デジタル化や運航の効率化、リスク管理を更に強化し、業界トップクラスの収益性と安全性をさらに向上させます。

進捗状況

投資:

- ・ 正栄汽船からの長期傭船2万4000TEU 型 6隻のうち2隻が竣工し北欧州航路に投入 (計3隻投入済)。
- ・ Seaspans社からの長期傭船1万5000TEU型船 4隻のうち1番船が竣工 (7-9月)
- ・ アジア域内新サービス「KCS2」「THX」開始 (7月)
- ・ 地中海新サービス「AIB」開始 (7月)
- ・ 南米発着新サービス「FLX」「LUX」開始 (9月)

環境:

- ・ 上海／ロサンゼルス・ロングビーチ間のグリーン海運回廊に参画 (9月)

安全性:

- ・ 船上での貨物火災など防止に向けSafetytech Accelerator社とのオンライン・ワークショップや協業を加速 (8月)

Q2 2023

ONE ECOMMERCE
LATEST UPDATES

e-コマース

当社のeコマースでは、近日中にも新たなユーザー登録方法及び船積予約に関するユーザーインターフェースについて、機能の刷新を行う予定です。新しいプラットフォームは、お客様に新しい体験をご提供します。

刷新した船積予約ユーザーインターフェース

- パターン予約：お客様の嗜好が重要です。e-コマースでは、よく利用されるルートや貨物詳細を表示し、船積予約の申込と完了をスピードアップさせます。
- ナビゲーションの簡素化：シームレスが鍵です。インターフェースが新しくなり、船積予約プロセスが簡単になります。
- 応答性の高いデザイン：いかなるデバイスでも表示一貫性を確保します。パソコン、タブレット、スマートフォン、応答性の高いデザインにより一貫したe-コマース体験をお約束します。

新規ユーザー登録方法

- 登録フォームの簡素化：登録フォームの必須入力項目を減らします。お客様は、必要最小限の項目だけを入力すればよくなります。
- リアルタイムでの検証：お客様がデータを入力する際に、そのデータが条件を満たしているかどうか（たとえば、電子メール形式が有効か）をリアルタイムでチェックし、誤りがある場合には、それをハイライトをすることで、お客様に修正点をリアルタイムでご案内します。

モバイル・アプリケーション

キーワードを入力するだけで、必要な機能や情報を検索できます。検索結果を「機能」と「情報」のカテゴリ別に整理し、ナビゲーションを容易にします。

お客様の船積みニーズにワンタップでお答えします。当社のモバイルアプリを利用すれば、ロジスティクスをテキストメッセージの送信と同じくらい容易にし、コンテナ輸送をより身近なものにします。

✿ タリフの検索：タリフに関する検索は、難解な専門用語によりうんざりとなり、混乱することがあります。当社のサービスを使えば、タリフコード、エッセンシャルタームズ、タリフ項目の料率、サーチャージ、サーチャージコードを検索し、お探しの答えをストレスフリーで見つけることができます。

当社は、「モバイルの力」を活用し、お客様のモバイルアプリ上の使い勝手を向上させるための海図を描きながら、お客様のご期待に応えていきます。また、当社はクラス最高の貨物機能とサービスを提供します。





電子決済

当社の電子決済プラットフォームは、現在、シンガポール、香港、タイ、インドネシア、インド、中国及びマレーシアの7カ国のお客様にご利用いただいております。お客様にシームレスな体験を楽しんでいただけるよう、オンライン決済の改善に努めていきます。ベトナムは現在準備中ですが、本年中にサービスを開始する予定です。お客様の決済方法の向上を目指した今後のアップデートにご期待ください。

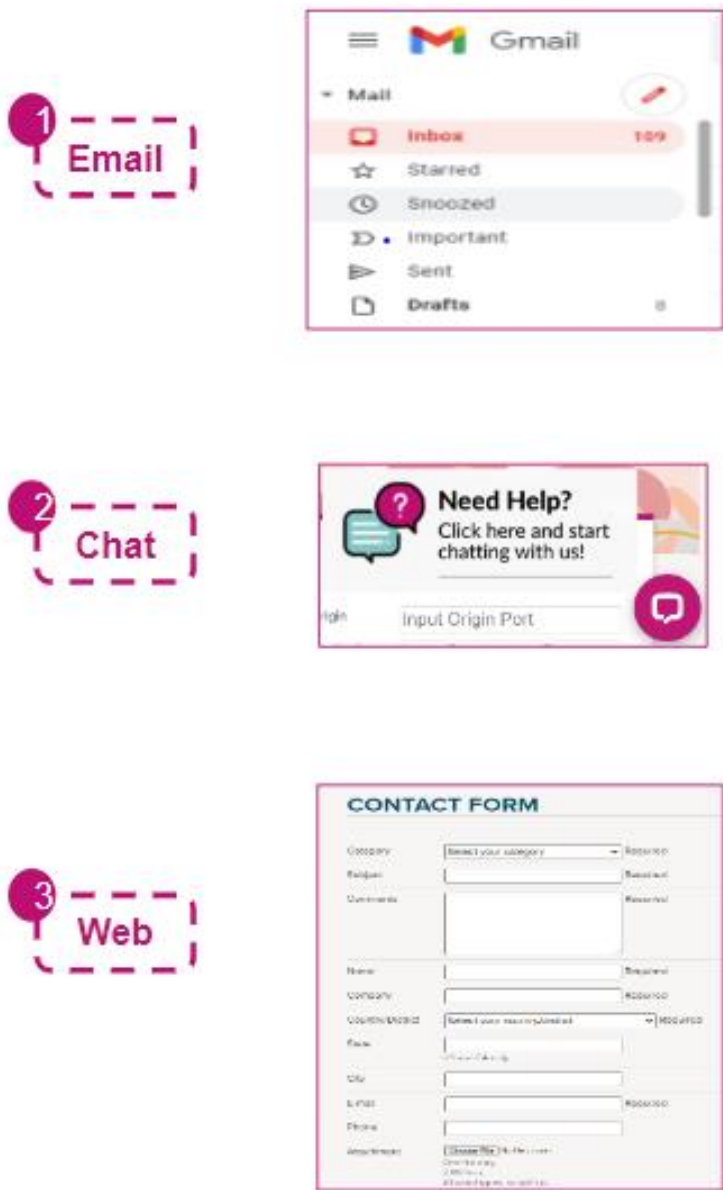
ONE Finance

e-コマースの新機能であるONE Financeは、現在、世界50カ国以上でご利用いただけます。ダイレクト電子決済*、効率的な問題解決、B/Lや請求書の詳細、請求書未払い情報へのアクセスが一目でわかるようになり、より充実したe-コマースをご体験いただけます。ONE Financeの詳細については、当該地域の当社の財務・会計担当者にお問い合わせください。

* 一部の国でご利用いただけます。



顧客サービス志向 (4/7)



CRM アップデート

当社は、一貫したカスタマー・サポートを提供するという責務の一つとして、副代理店を含めサービス・クラウド導入を拡大しました。これにより、お客様へ一貫したアシスタンスを提供しつつ、お客様とのパートナーシップを更に強化し、輸送の課題に関する貴重なフィードバックを収集することが可能になります。

また、大きな前進として、当社は、サービス・レベルの重要業績評価指標 (KPI) の測定基準を当社グループで統一させ、一貫した顧客満足度と顧客体験を実現して参ります。

A I が企業向けソフトウェア・アプリケーションを変革していくなか、当社はカスタマーサービスとカスタマー・リレーションシップマネジメントの刷新を目指していきます。A I とデータの融合により、この分野には無限の可能性が広がります。

卓越したカスタマーサービスを提供したいという当社の責務は、A I が支援するデジタルトランスフォーメーションの新時代において、当社のプラットフォーム、プロセス、そして人材を改善しようとする原動力となっています。

- ✓ Provide full visibility on Customer collaborations for all Key Accounts
- ✓ Customer servicing platform integrated with innovative digital & traditional channels of Customer interactions.
- ✓ Enabling Sales & Servicing teams with insightful data, reports & dashboards from ONE Force

Service KPIs

Feed

- Email
- Chatter

100,000

Customer Profile

GAM - Jane Low

Data Panel

Case Trend

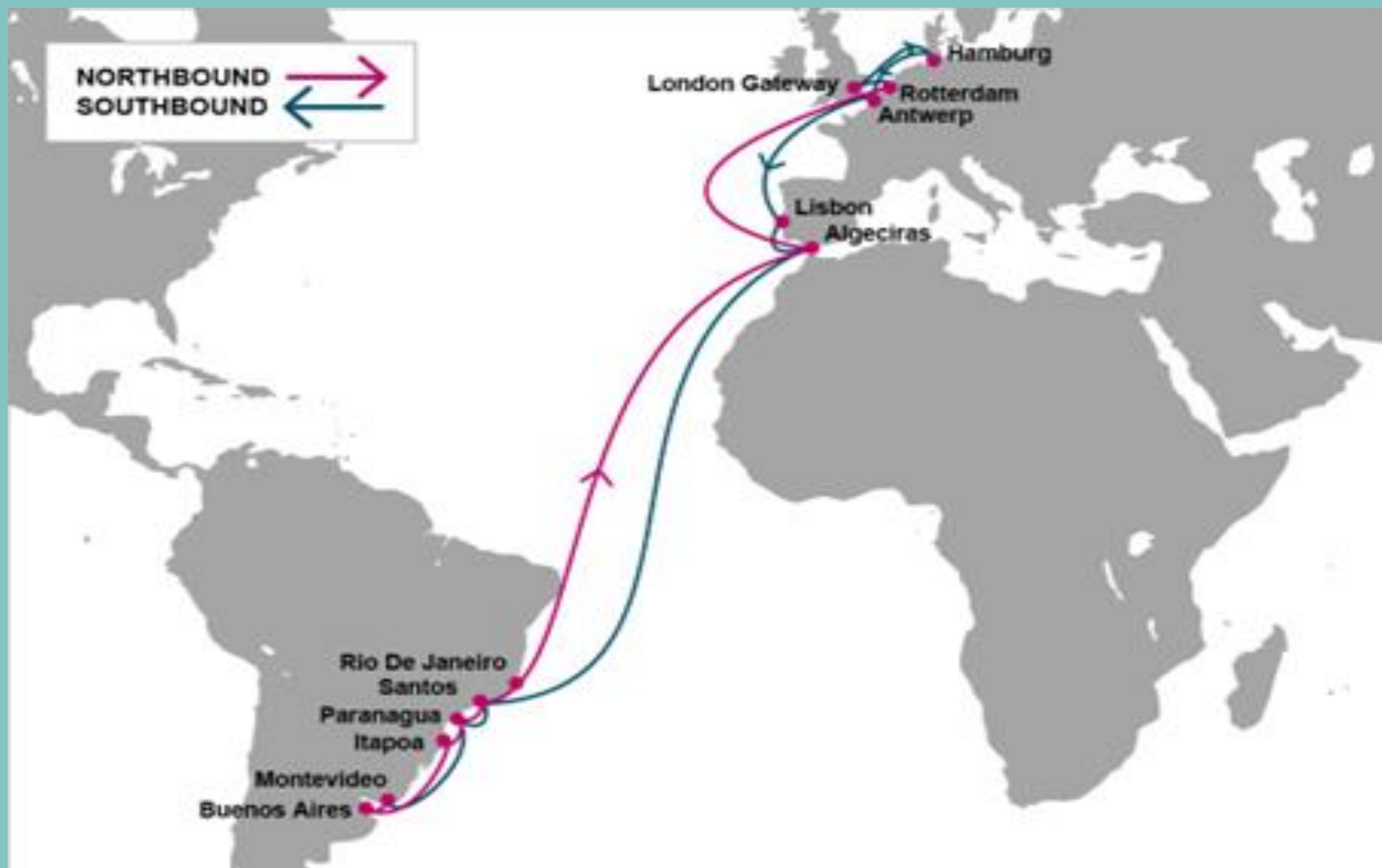
Intents Profile

REVENUE

\$900,000.00

欧州と南米を繋ぐLUXサービス

欧州 / 地中海と南米東岸を繋ぐウィークリーサービス (New Latin-East-Coast Europe Express)



ローテーション:

ロッテルダム - ロンドン・ゲートウェイ - ハンブルグ -
 アントワープ - リスボン - アルヘシラス - サントス -
 パラナグア - モンテビデオ - ブエノスアイレス - イタポア
 - パラナグア - サントス - リオデジャネイロ -
 アルヘシラス - ロッテルダム

サービス頻度: ウィークリーサービス

本年9月16日、モンテビデオから出航予定

カリブ海と北米を繋ぐFLXサービス

中南米西岸・カリブ海とフロリダを結ぶウィークリーサービス (Florida Latin Express)



ローテーション :

カヤオ - パイタ - グアヤキル - カルタヘナ - ポートエバーグレーズ
- プエルトコルテス - カルタヘナ - カヤオ

サービス頻度 : ウィークリーサービス

本年10月4日、カヤオから出航予定

北東アジアとパキスタン/インドを繋ぐNPIサービス (Northeast Asia / Pakistan and India)

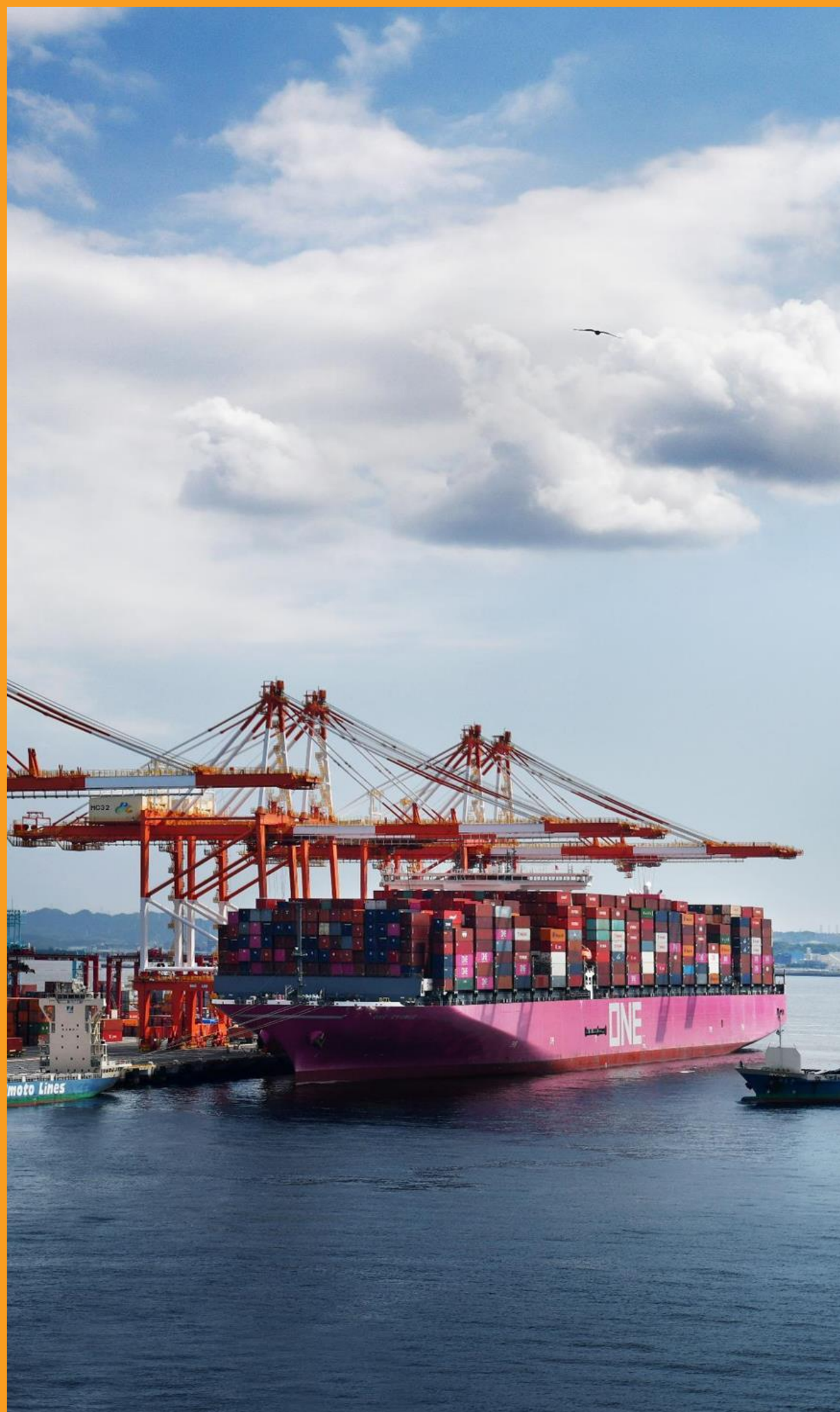


ローテーション :

青島 - 新港 - 釜山 - ポートケラン - ナバシェバ - ピパバブ - カラチ
- ムンドラ - コロンボ - ポートケラン - シンガポール - 青島

サービス頻度 : ウィークリーサービス

本年10月9日から出航予定



THE Allianceにおけるサービス再編成

THE Allianceは、冬季の市場需要を考慮し、太平洋航路とアジア—欧州航路に冬季サービスプログラムを導入しました。

太平洋航路：

PS5は本年8月より、PN3は本年10月より、それぞれ一時的にサービスを休止しています。その他のサービスについては、お客様が引き続き継続的かつ包括的なサービスを受けられるよう強化に努めています。

アジア—欧州航路：

THE Allianceは、本年10月から12月にかけて、極東-北欧航路と地中海航路の欠便を計画しています。貨物需要を注意深く観察することで、市場の変化に迅速に対応いたします。



継続中の当社船団のアップグレード

当社は2023年度第2四半期に新たに3隻の船舶の運航を開始しました。

- ONE INFINITY 24,136TEU 今治造船丸亀事業本部で建造
- ONE INTEGRITY 24,136TEU 今治造船西条工場で建造
- ONE FRONTIER 15,258TEU 中国揚子江船業集団で建造

最新の設計と高い性能により、これらの船は当社のオペレーションの優位性に貢献することが期待されています。





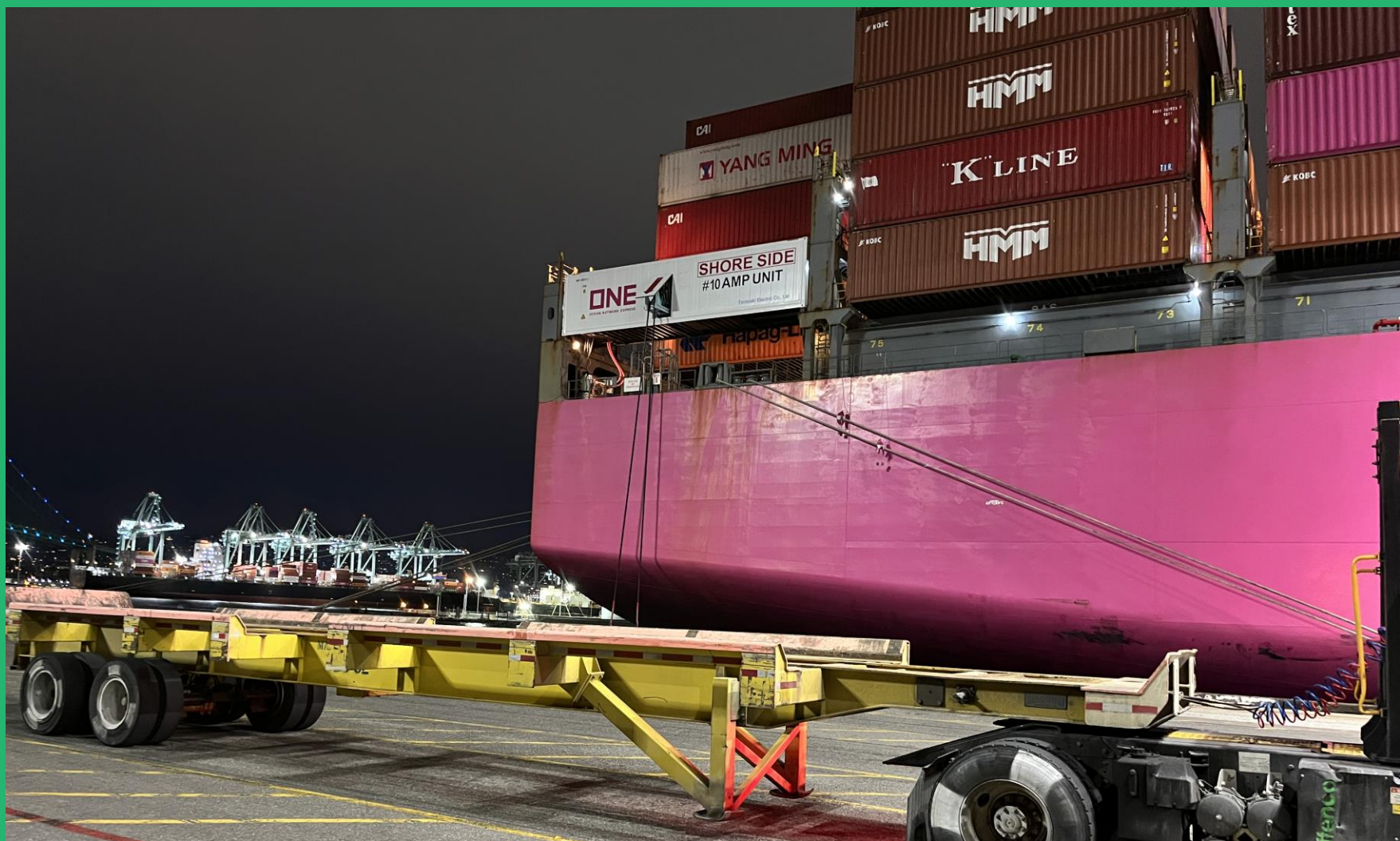
Photo Credit: North Bund Forum

ロサンゼルス港 / ロングビーチ港と上海港を結ぶ「グリーン海運回廊プロジェクト」に参画

当社は、世界有数のコンテナ航路の一つであるロサンゼルス港/ロングビーチ港及び上海港を結ぶ「グリーン海運回廊プロジェクト」と参画し、温室効果ガスの排出削減を加速させています。

本年9月22日、ロサンゼルス港、ロングビーチ港及び上海港と大手コンテナ船社及び荷主などの主要な海事関係者は、自主的にパートナーシップを構築し、プロジェクトの実施計画の概要を発表しました。このプロジェクトは港から港へのすべてにわたり、各関係者は、海運及び港湾活動からの排出削減に努めています。

当社は、プロジェクトに参画する1社として、この航路にライフサイクル・エミッションの削減された又はゼロの船舶をできるだけ早期に配備することを目指し、協力してまいります。



シンガポールで第2回コンテナ海運サミットを開催

当社は、本年8月3日にシンガポールにおいて、第2回コンテナ海運サミットを開催しました。

コンテナ海運サミットは、コンテナ船業界が直面するさまざまな課題への実践的な対策を模索するため、当社が主催し、開催されました。このイベントには、業界の専門家や学識経験者も参加し、グローバル・サプライ・チェーン及び関連コミュニティの明るい未来に向けての取り組みが議論されました。

本年のサミットでは、ターミナル・港湾・コンテナ船技術に関する研究開発、コンテナ海運サプライチェーンの最適化、コンテナ海運におけるESG評価手法の開発及び海運分野における人材開発についてのテーマに基づきパネルディスカッションを行いました。



グローバルな取り組み

クリーンアップデー

当社は、#ONE Ocean の取り組みの一環として、世界各地の地域事務所がクリーンアップデーを祝して#SeaThe Changeキャンペーンに参加しました。

本年、当社は、オーシャン・コンサーバンシーが主催する「International Coastal Cleanup™」のHealthy Bays Partnerとして参加にあたり、一部地域事務所が清掃活動の効果をさらに高めることを目的としてClean Swell®アプリを活用しました。回収したゴミをカタログ化することで、研究者や政策立案者が環境保全の改善に役立つ情報を入手し、重要なデータベースの形成に貢献しています。

当社のレポートは“[ONE Planet](#)”から閲覧できます。

キャンペーンの概要：

- **シンガポール本部**： *Leading by Example* – CEOのジェレミー・ニクソンとMDの岩井泰樹を含む47人の従業員はイースト・コースト・パークを清掃しました。
- **ドイツ**： *Return of the Waste Buccaneers* – ハンブルクの運河をパドルボードで清掃しました。
- **韓国**： *All aboard* – ファミリーメンバーと共に釜山の観光名所、広安里ビーチの美化活動を行いました。
- **英国・ロンドン**： *Of History and Rich Heritage* – タワーハムレッツ墓地公園のメンテナンスを行いました。
- **ペルー**： *Climate Action and Awareness* – Perú te quiero Limpioの支援により、アンコンのラス・コンチタス・ビーチで廃棄物の収集と分別を実施しました。
- **スリランカ**： *Campaign Champions!* – ワッタラのペリチプラ・ビーチで1トン以上のゴミを回収しました。
- **米国**： *ONE Lombard “Adopts-a-Beach”* – Alliance for the Great Lakesとのパートナーシップによりシカゴ湖畔のモントローズ・ビーチを清掃しました。



ONEのグローバルオフィスにおけるCSR活動

当社は、2018年の事業開始以来、世界中で幅広いCSR活動に取り組んできました。当社は、責任ある持続可能なグローバル企業として、地域社会にさまざまな貢献をしています。本年7月から9月までの間に、1550人以上の従業員が数多くの価値ある活動に参加しました。

注目すべき取り組みとイベント：

- **シンガポール本部**：本年の建国記念日を祝して、食品ロスをテーマにしたイベントを開催しました。
- **日本**：江の島海岸にて清掃活動を行いました。
- **アルゼンチン**：コミュニティの安全な避難所であるHogar Santa Inésに、建設資材資金を提供しました。
- **中国**：深圳血液センターの輸血用血液の不足を受け、深圳オフィスの16人の社員が献血しました。
- **香港**：メイク・ア・ウィッシュ財団の記念日を3年連続でサポートしました。
- **インド**：プネー州ムルシのピンプリ村での鳥類保護活動でFORRESTと協力、イチジクの木や鳥に優しい木を植林し、鳥の止まり木を設置しました。
- **英国・ロンドン**：グレート・オーモンド・ストリート病院を支援、白血病の子どもたちへの募金活動を目的として海運業界で毎年開催されているイベント「OSCARドラゴンレース」に参加。
- **マレーシア**：ウミガメ保護協会に協力し、トレンガヌ州の孵化場にて15個の卵を保護し、孵化したウミガメの赤ちゃんを放流しました。
- **米国**：ボイシ及びシカゴの各事務所で、貧困家庭に配付する食料品の梱包作業のお手伝いをしました。
(アイダホ・フードバンク、フィード・マイ・スターヴィング・チルドレン)
- **ウルグアイ**：パンド市のバスケットボール・スクール、サン・イシドロで、貧困家庭の子どもたちや危険にさらされている若者と交流しました。



プロジェクト・マジとのパートナーシップ

当社は、衛生的な水の確保という喫緊のニーズと、それがもたらすコミュニティへの革新的な影響を認識し、アフリカ全土において安全な水資源の確保を目的とするNGOのProject Majiと提携し、ガーナとケニアで持続可能な水資源の確保と地方の学校への無料給水所の設置のために資金を提供することを発表しました。

当社の欧州事務所の促進する貢献活動は、長年水を媒介とする病気や非衛生的な水に苦しんできた人々の生活に直ちに永続的な変化をもたらすもので、健康と教育を大幅に改善するものです。

このパートナーシップは、ガーナ、コートジボワール、ナイジェリア及び南アフリカ事務所に続き、4月初めにはケニア事務所を設立し当社のサハラ以南のアフリカへの関与を表すものです。地域社会との関りを通じて、当社は持続的な発展と企業の社会的責任、事業活動を超えた永続的な効果を生み出すというビジョンを再確認いたします。

本件に関し、ジェレミー・ニクソン最高経営責任者（CEO）は、「我々は水資源の深刻な不足によって酷い状況にあるガーナとケニアのコミュニティに対処するために、プロジェクト・マジと協力できることをうれしく思います。衛生的な水資源にアクセスすることは基本的な人権の一つであり、我々のパートナーシップを通じて、健康上の利益のみならず、教育、所得水準、ジェンダー・エンパワーメントなどの分野にまで広がるポジティブな波及効果の創出を目指しています。」と述べています。



ありがとうございました

www.one-line.com